

中期標準化戦略(平成30年度重点的取組)

専門委員会名	アーキテクチャ部門 移動通信網マネジメント 専門委員会	企画戦略委員 正副委員長	榮 浩三(ドコモ)、 中野 裕介(KDDI) 委員長:横田 大輔(ソフトバンク)、 副委員長:相川 慎一郎(富士通)
移動通信全般に係わる重要な課題において、3GPPs本体を含めた国際標準化組織との連携・寄与、TTC内の他委員会、ARIBを含めた移動体関連組織、業際的な関連組織との協調・連携に取り組んでいます。			
重点的取組活動と達成目標、達成時期			
H29年度当初計画	<p>H29年度の目玉: 5Gの仕様策定進行に合わせた3GPP各種会議体、及びTTC内関連専門委員会との連携の推進</p> <p>① H29年度はいよいよ5Gの技術仕様策定が進行するため、この活動とTTC内の関連専門委員会の活動との間の連携を図るべく、適宜重要と思われる情報は発信していき、必要に応じて意見照会なども実施していく。</p> <p>② 移動通信系の標準化活動をマネジメントする専門委員会として、3GPP PCG/OP (TTCが議長を務めるFFGも含む)、及び3GPP2 SC/OPからのマネジメント課題にTTCとしての意見を集約しながら対処を進める。</p>		
H29年度目標達成状況	<p>H29年度の達成: 5Gアーキテクチャに関わるワークショップの開催、TTC内関連専門委員会との連携の推進</p> <p>① 3GPPにおいて5Gのシステムアーキテクチャに関する具体的な仕様検討が始まったことを受け、その状況をTTC内外に広く共有するべく、TTC Workshop「3GPP 5Gアーキテクチャを紐解く～5Gモバイル/IMT-2020におけるキーテクノロジー解説～」を3GPP専門委員会と合同で企画・開催し、パネル討論形式の導入の工夫なども相まって活発な意見交換が実施され、盛況のうちに終わらせることができた。</p> <p>② 3GPPにおける5G仕様検討に加え、ITU-Tにおいても同領域の仕様検討が進行していることを受け、そのITU-T側の標準化活動に対応しているNetwork Vision専門委員会と連携してTTC内に5G標準化連携連絡会を設立し、定期的に双方の仕様検討状況の相互共有を図った。</p> <p>③ 3GPP PCG/OP会合、3GPP2 SC/OP会合、日本への3GPP会合招致に関わるグループJF3 (Japanese Friends of 3GPP)の状況把握と委員会内の共有を実施した。</p>		
H30年度当初計画	<p>H30年度の目玉: 5Gの初期仕様策定完了と次期仕様検討開始に関するTTC内関連専門委員会との連携の推進</p> <p>① H30年度はいよいよ5Gの初期技術仕様(Phase1)が含まれる3GPP Rel-15仕様書セットの策定が完了すると共に、次期技術仕様(Phase2)の検討が開始される予定であるため、TTC内の関連専門委員会に対してその進捗と内容の共有を図っていく。</p> <p>② 移動通信系の標準化活動をマネジメントする専門委員会として、3GPP PCG/OP (TTCが議長を務めるFFGも含む)、及び3GPP2 SC/OPからのマネジメント課題にTTCとしての意見を集約しながら対処を進める。</p>		

中期標準化戦略(平成29年度活動報告)

専門委員会名	移動通信網マネジメント専門委員会		登録委員数/会員数	13/(1グループ)/7
主な活動項目	概況指標	H29年度目標(当初計画時)	H29年度実施状況	記事
①アップストリーム、他団体との連携	寄書数	0件	0件	
	外部会合への参加状況、連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回) ・3GPP2: SC/OP会合(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・3GPP: TSG Plenary (4回; 6月、9月、12月、3月) PCG/OP会合(2回; 4月、9月) ・3GPP2: SC/OP会合(Web会議; 1回 5月) 	
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	0件	0件	
③国内標準、仕様書、レポートの作成	JJ標準	0件	0件	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
④プロモーション、普及推進	セミナー	移動通信系委員会で継続検討	3GPP専門委員会と合同で、TTC Workshop「3GPP 5Gアーキテクチャを紐解く～5Gモバイル/IMT-2020におけるキーテクノロジー解説～」を開催(5月31日)	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告	なし	

中期標準化戦略(平成30年度活動計画)

専門委員会・AG名	移動通信網マネジメント専門委員会		登録委員数/会員数	13/(1グループ)/7
主な活動項目	概況指標	H30年度目標(当初計画時)	H30年度実施状況	記事
①アップストリーム、他団体との連携	寄書数	0件		
	外部会合への参加状況、連携状況	・3GPP: TSG Plenary (4回), PCG/OP会合(2回) ・3GPP2: SC/OP会合(2回)		
②ダウンストリーム	ダウンストリーム数	0件		
③国内標準、仕様書、レポートの作成	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
④プロモーション、普及推進	セミナー	外部組織、他専門委員会との共催も含め移動通信系委員会で、継続検討		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告		

中期標準化戦略(日本における状況とTTC標準化方針)

専門委員会名	移動通信網マネジメント専門委員会	SWG	-
他標準化団体の動向	<p>3GPP</p> <p>① 5G Phase 1技術仕様検討が始まり、サービス要求仕様(Stage 1)に続き、アーキテクチャ仕様(Stage 2)がほぼ固まりつつある(2017年12月時点)。今後、プロトコル仕様(Stage 3)の検討が本格化し、これらが全て含まれるRel-15仕様書セットの策定を2018年6月を目標に完了させる。</p> <p>② 5G Phase 2技術仕様が含まれるRel-16仕様書セットを2019年12月を目標に策定する。</p> <p>3GPP2</p> <p>① 2015年より運営、技術仕様策定活動の大幅な簡素化を実施し、仕様策定は基本的にメンテナンスが中心となった。</p>		
日本における状況 (技術動向、市場動向、 標準化の必要性)	<p>① 各移動体通信事業者からLTE/LTE-Advancedによるモバイルブロードバンドサービスが提供されてスマートフォンへの移行が進み、音声サービスもVoLTE(LTE上でのVoIP)へのシフトが進行している。</p> <p>② 通信事業者及びパーティカル、共にIoTビジネスへの参入と拡大に期待をかけている。</p> <p>③ NW仮想化も標準的な技術として各所で活用されるようになってきている。</p> <p>④ 世界に先駆けて5Gサービスを提供し始めるためには、その標準化が遅れることなく進行することが不可欠となる。</p>		
TTCの標準化方針	<p>3GPP PCG/OP及び3GPP2 SC/OPの運営をサポートすると共に運営課題に対して必要に応じて関連専門委員会、ARIBと連携しSDOとして対応する。また、5Gの技術仕様策定状況を適宜TTC内関連専門委員会に共有を図っていく。</p>		